

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 4
2019・5・7

1 連邦大臣クレックナー：地球上の絶滅危惧種の保持を（2019・5・5）
—資源を保護し持続的な利用が世界の食料を確保—

世界生物多様性協議会総会に関して連邦食料・農業大臣クレックナーが説明した：“私は動植物種の喪失に関する報告を、非常に深刻に受け止めている。我々は自らの生存基盤もまた、種の多様性とともになくなってしまうことを、認めるわけにいかない。連邦食料・農業省としても、この場合農業がどのような役割を有するか考察している。我々は自然を保護し、持続的に利用するという、自らの政策をさらに発展させる。

なぜならば、我々は生産的な農業を必要としていることも真実である。世界的に 8 億人以上の人々が飢えている。さらに 20 億人が栄養不足である。2050 年までに世界人口は、さらに約 25 億人増加する。この全ての人々が満腹になる権利を有している。その際、多様な資源の保護と利用は同時に行われる。持続的な利用によってのみ、地球上の種の保護が維持される。なぜならば、これは将来的な世界食料のために、安定した基礎を築くために重要だからである。連邦大臣クレックナーは生物多様性保護のために、既に積極的に取り組んでいる。

- ・ 農業者は種の多様性を保持し、そしてそれを高めるために、農業環境政策でもって奨励される。我々は、このことを EU 共通農業政策の新しい奨励プログラムの中で強化する。
- ・ 我々は連邦環境省、農業団体そして経済界と共同で成果あるプロジェクト “資源、農業&自然保護のために将来を (F,R,A,N,Z)” 奨励する。そして種の保護と農業を結合させるといったような事例が、ドイツの多くの地域で示されている。
- ・ 我々は消費者コミュニケーションを支援する：我々は 500 以上のホームセンターと園芸センターとともに、“蜜蜂が授粉” 活動を創設する。

蜜蜂アプリケーション (APP) とこれに相応したパンフレットにおいて、特に蜜蜂に優しい植物を紹介している。なぜならば、これは蜜蜂に栄養を供給してくれるからである。

- ・ 連邦政府は、各州とともにドイツの蜜蜂モニタリング (DeBiMo) を支援している。これは冬に周期的に生ずる蜜蜂群の喪失の原因を解明するためである。連邦政府はこのモニタリングのために、年間 400000 ユーロ (約 5200 万円) でもって奨励している。
- ・ 連邦大臣クレックナーは、秋までにしっかりとした、そしてバランスのとれた「畑作戦略」を提起する。この戦略の目的は、今後農薬をなお一層強く使用することについて、種の多様性そして気象保護のために、検討するためである。
- ・ 我々は農薬による防除を減らすために、植物の病害虫抵抗力をもった種の育成とその研究を支援する。
- ・ 昆虫保護の行動プログラムの開始を決定した。同時に我々は、連邦政府として昆虫の生存条件を改善したい。この合意文書は、2018 年 6 月に閣議で決定された。最初の具体的な政策を伴った行動プログラムの政府草案は、専門分野で調整中である。
- ・ 連邦大臣クレックナーは、蜜蜂に害を及ぼすネオニコチノイド系農薬のクロチアニジン (Clothianidin)、イミダクロプリド (Imidacloprid)、チアメトキサム (Thiamethoxam) 禁止のために、ヨーロッパレベルで合意している。彼女は 2018 年 12 月 19 日以来、EU-内で露地での使用のために販売できず、そして使用させてない。
- ・ 我々は農薬を慎重に扱う革新的な研究と種の多様性を強化する。加えてビート種子の殺菌に際して、この作用物質に対して緊急時でも使用許可を、与えるべきでないことを明らかにした。このことは価値あることである。

2 2019 EXPO が北京でオープンー持続的な都市発展のための近代園芸 (2019・4・29)

2030 アジェンダの実施：持続的な都市発展のための貢献として、近代園芸ー蜜蜂の重要性もまた強調される。今日北京で EXPO ー園芸が、「緑の中でより良く暮らす」をモットーにオープンした。

この EXPO は、2015 年ニューヨークでのアジェンダ 2030 で採択された行動計画の視点で、持続的な都市発展への貢献としての園芸のチャンスと、緑のテクノロジーを展示している。

ドイツは、この EXPO で将来を指向したテクノロジーと、近代園芸を巡る理念を提示している。ドイツ連邦食料・農業省は、「ドイツの園芸」に責任を有している。EXPO の開会に際してドイツ連邦食料・農業省の政務次官ハンスヨアヒム フフテルが強調した。2019 EXPO のためのドイツ貢献のための政府委員：EXPO モットーの全世界的な重要性。”これは巨大都市の世界規模での増大と同時に新しい答えを必要としている、我々のエコシステム上のネガティブな進展と結びついている。

その際、近代的な園芸は持続的な都市発展のための貢献として、大きな役割を演ずる。それ故に我々は、中国が園芸 EXPO の中心点に、この挑戦を据えたことを明確に歓迎したい。「ドイツの園芸」の中で我々は、持続的な都市発展に貢献できるために、指標となる手法と革新的な取組みを紹介する。この分野における我々両国の共同活動は、ドイツー中国の友好関係の大きな実体のためのさらなる証明である。

これに加えて 2015 年以来、ドイツ・中国農業センター (DCZ) が、重要な礎石になっている。大学の連携による共同、ドイツ連邦食料ー農業省傘下の研究所の多様な共同によって、補完されることが重要な役割を演ずる。”

経済と科学の革新

2000 m²でのドイツの園芸は、「種子の未来」のモットーのもとに、革新のインパクトを与える。そして例えば、有機の挑戦の成果多い問題解決に際して、ドイツの事例である。訪問者はドイツパビリオンにおいて、ドイツの研究とテクノロジーの効率性を体験できる。ドイツパビリオン正面に施した植物ディスプレイとキネティックアート（訳注・照明、動力などによる変化を活用した動く作品）もまた、近代都市のガーデニングの一例である。

訪問者は入場の際に、いわゆる土団子（種子を入れた土を団子状にまるめたもの）を貰い、さらに個々の展示物でもって交流できる。パビリオンの展示は、変革の具体的な実現性もデモンストレーションしている。ドイツの都市、エッセンの事例とヨーロッパの緑の都市と、その周辺地域における工業地帯の成果多い転換を表現している。

訪問者は、100年以上の歴史をもつ市民農園と並んで、蜜蜂の世界と養蜂家の重要な仕事もまた、知ることができる。農業における新しいデジタル研究プロジェクトは、将来の技術に1つの洞察をもたらす。展示の中央には、見どころとしての都市公園があり、そこで人々は休息しそして大都市での慌ただしさを癒される。

アルプスから海岸までドイツの自然空間

ドイツのパビリオンは園芸空間を中心に置き、そしてドイツの多様な自然空間を描写し、ドイツを巡る周遊旅行を提供する。この道は、アルプスから全ドイツを川に沿って縦断し、北海ーバルト海の沿岸まで訪問者を導く。この道は植物に埋め尽くされ、それぞれの地域の特徴を示している。

ドイツの園芸構造と着想

ドイツの園芸構造と実践を管轄するドイツ連邦食料・農業省（BMEL）は、ハンブルグ見本市と有限会社会議に委託した。内容豊かなそして建築上の構想は、ハンブルグのコミュニケーション有限会社の共同事業体 Kontrapunkt（コントラプンクトー北欧屈指のデザイン会社）と、デュッセルドルフの gtp2 建築に由来している。

園芸－EXPO 2019について

国際園芸博覧会 2019 は、4月29日から10月7日まで北京の中心部から北西約75kmのところにある、Yanging 県で開催されている。そこから歩いて直接万里の長城に行ける。EXPO一敷地は960haの広さであり、展示面積は500haである。約100の国と国際組織と並んで、約100の中国国内の県と地域そして市町村、国内、国際企業が参加している。

3 ドイツ連邦食料・農業省：韓国との貿易関係強化のための訪問

ードイツ農業分野の派遣団が韓国を訪問ー (2019・4・30)

連邦食料・農業省政務次官 ハンス ヨアヒム フフテルが、5月1日から4日まで政治会談のために韓国を訪れた。彼は、農業分野の代表者で構成された派遣団に同行した。この訪問の中で、韓国の農業省食料安全ー薬品安全省の高位代表者並びに韓国獣医局長との会談を行った。さらに政務次官は、食料の投げ捨てに対する戦略に関しての体験交流について、韓国環境省代表者との対話も予定している。

“私の訪問の目的は、韓国との貿易関係強化のために、積極的な刺激をもたらすことである。私は確信をもって韓国のパートナーと、信頼に満ちた対話を成功させ、そして今後長期的な市場アクセスの方法を、早急に進展させたい。ドイツの食料―農業産物の分野においても、「Made in Germany」を韓国に輸出し、そして喜ばれること。そのため、ドイツ産物の高い品質の PR をさらに強化しなければならない。なぜならば、農業貿易はドイツ農業の重要な柱であるから”と、政務次官は強調した。

4 干ばつ被害：森林所有者のための財政的支援 (2019・2・5)

―新しい奨励内容・極端な気象結果による森林被害の克服―

連邦食料・農業省 (BMEL) の提案で EU 計画委員会 (PLANAK) が、2018 年 11 月 27 日に新しい奨励内容を決定した。それは”極端な気象結果によって引き起こされた被害を克服するための政策奨励”である。同時にその手段は、各州の所管であり、奨励提供は州に委ねられている。森林所有者は、自ら所属する州において奨励金を請求できる。連邦政府は私有―地方自治体林のために、EU 共通農業政策 (GAK) を通じて、極端な気象による被害克服と森林の長期的な安定のために、5 年の期間で 2 500 万ユーロ (約 32 億 5 000 万円) の追加財源を準備している。

何が奨励されるのか？

- 1 被害林における被害樹の除去対策
- 2 森林保護対策
 - ① 害虫の監視と予防・防除 (例えば、キクイムシ)
 - ② 被害樹の探索と片付けによる害虫の防除 (例えば害虫防除上の伐採、樹皮の剥ぎ取り、樹皮のゴミ処理、木材の輸送など)
 - ③ 被害木材貯木のための置き場施設 (貯木池―乾燥場)
 - ④ 強雨の結果破壊された林道とそれに付随した必要な施設の復旧 (例えば 出入口、退避場など)
 - ⑤ 森林火災の防止と消火対策
- 3 極端な気象結果によって生じた林地の隙間または空間地となった林地の改善並びに事前一基盤工事、再植林

奨励政策はどこに申込みできるのか？

前述の政策による奨励の申し込みは、通常林業所轄署（林業事務所、州林業企業体、幾つかの州では農業会議所または他の施設）である。

関心のある人は、この政策への申し込みの前に、管轄署にコンタクトをとるべきである。林業奨励政策の実施については、各州が所管する。そのため、個々の奨励政策の方針に際して条件を規定している。申込者のために、各州の指針が規準となる。

更なる林業奨励政策

GAK の分野における森林政策は、さらに自然に近い森林管理、林業上の共同、森林における社会契約的な自然保護（訳注・農業と自然保護との間の協力）、そして最初の植林を奨励する。

2019・5・5 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
